



2024年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社ダイイチ

上場取引所 東札

コード番号 7643 URL <https://www.daiichi-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若園 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼企画IR担当 (氏名) 西崎 進

TEL 0155 - 38 - 3456

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の業績(2023年10月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	13,385	5.6	688	5.1	691	5.1	476	5.2
2023年9月期第1四半期	12,670	5.1	655	29.2	657	29.3	452	29.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	41.70	
2023年9月期第1四半期	39.59	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	24,830	16,017	64.5
2023年9月期	23,483	15,854	67.5

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 16,017百万円 2023年9月期 15,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		0.00		25.00	25.00
2024年9月期					
2024年9月期(予想)		0.00		26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,400	5.5	1,030	1.4	1,030	1.9	710	1.1	62.18
通期	50,400	4.9	1,760	1.6	1,760	3.3	1,215	1.6	106.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2024年2月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

1株当たり当期純利益の計算には、2023年12月31日時点の期中平均株式数で算出しております。なお、2023年11月10日開催の当社取締役会の決議に基づく自己株式の取得のうち、2024年1月1日以降の取得分の影響は考慮しておりません。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年9月期1Q	11,438,640 株	2023年9月期	11,438,640 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年9月期1Q	40,388 株	2023年9月期	12,088 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年9月期1Q	11,417,852 株	2023年9月期1Q	11,426,552 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行したことにより、10月には訪日外国人数がコロナ前の水準を上回るなど人流が回復、加えて半導体等の材料不足緩和に伴う生産回復などにより、経済の正常化が更に進みました。

一方で、ウクライナ・ロシア情勢に加え、中東情勢も緊張状況が続き、為替やエネルギー価格が不安定化、物価は上昇幅が縮小しつつありますが、高止まりの状況で推移し、米国・中国経済の減速懸念も含め、景気の先行きに関しましては、下押し圧力の強い不透明な状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、長引く物価高によりお客様の「節約志向」、「買い控え傾向」が一層強まっていることに加え、各種経費の増加、業種・業態の垣根を越えた競争の激化など、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社は、2023年11月に公表しました中期経営計画(2024年9月期～2026年9月期)に基づき、基本方針である『普段の食生活を通じて、地域を笑顔に』の実現に向けて、「商品力・販売力の向上」、「お客様利便性の向上」、「労働環境の改善」、「環境保全・地域活性化」、「効率化の推進」、「株主還元強化」などへの取組みをスタートしました。

初年度である第70期に関しましては、①コンプライアンスの徹底とガバナンス強化、②出店戦略推進、③競合店対策強化、④商品力強化(コア商品の開発推進等)、⑤セブン&アイ・ホールディングスとの連携強化、⑥人財の増強(採用・育成強化、労働環境改善)、⑦効率化・オペレーションコストの削減、⑧社会貢献、地域貢献を通じた地域密着型企業の深化、を重点実施事項としております。当第1四半期累計期間における主な取組み結果としましては、②出店戦略推進への取組みとして、2023年11月30日に「すすきの店」をオープンしました。すすきの店は多くのお客様にご利用いただいております、平日の来店客数(お買い物いただいたお客様数)は当社店舗中最多と、売上への貢献だけでなく、ダイイチブランドの発信拠点としての役割も十分果たすことができっております。④商品力強化への取組みの一環として、物価高によるお客様の節約志向や多様化するお客様ニーズに的確に対応していくため、量目も含めた商品ラインアップの見直し・拡充に努め、買い控えによる販売点数減少傾向歯止め効果も上げつつあります。

12月末現在の店舗数は、帯広ブロック9店舗、旭川ブロック7店舗、札幌ブロックは前述したすすきの店の出店により7店舗となり、全ブロック合計で23店舗となりました。

今後の店舗戦略としましては、2024年秋頃に千歳店(仮称)の出店、同時期にイトーヨーカドー帯広店退店後の1階食品スーパーマーケット区画への出店検討など、引き続きドミナントの拡充を進めてまいります。

イトーヨーカ堂を含めた、⑤セブン&アイ・ホールディングスとの連携強化につきましては、セブンプレミアム商品の取扱拡充、帯広地区におけるイトーヨーカドー帯広店との共同販促の実施、グループ包括保険の活用、リスク管理などの有用な情報交換などに努めております。

売上高につきましては、前述のすすきの店の新規出店や商品戦略に加え、地域別・店舗別のきめ細やかな販売戦略とおお客様の期待に応える価格戦略の展開、サービス・接客向上への継続的な取組みなどが奏功し、前年同期に比べ5.6%増加となりました。また、地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは55億1百万円(前年同期比4.0%増)、旭川ブロックは37億67百万円(前年同期比3.2%増)、札幌ブロックは「すすきの店」の効果等により41億16百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

売上総利益率につきましては25.8%となり、前年同期比0.7ポイント改善しました。

販売費及び一般管理費の売上高に対する比率は21.7%となり、前年同期0.7ポイント増加しました。

これらの結果、第1四半期累計期間における売上高は133億85百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は6億88百万円(前年同期比5.1%増)、経常利益は6億91百万円(前年同期比5.1%増)、四半期純利益は4億76百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ13億47百万円増加の248億30百万円となりました。流動資産においては、売掛金の増加3億79百万円等により、前事業年度末に比べ7億30百万円増加の109億23百万円となりました。固定資産においては、すすきの店の出店による建物の増加6億45百万円等により、前事業年度末に比べ6億16百万円増加の139億7百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べ11億83百万円増加の88億12百万円となりました。流動負債においては、買掛金の増加10億72百万円に対し、未払法人税等の減少1億52百万円、賞与引当金の減少1億70百万円等により、前事業年度末に比べ10億72百万円増加の66億66百万円となりました。固定負債においては、すすきの店出店による資産除去債務の増加1億97百万円等により、前事業年度末に比べ1億10百万円増加の21億46百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ1億63百万円増加の160億17百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加1億90百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は64.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年2月13日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、2024年9月期の第2四半期累計期間および通期の業績を修正いたしました。

修正後の第2四半期累計期間の業績予想に対する第1四半期累計期間の実績の進捗状況は、以下のとおりであります。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期予想 (A)	25,400	1,030	1,030	710	62.18
第1四半期実績 (B)	13,385	688	691	476	41.70
進捗率(%) (B)/(A)	52.7	66.9	67.1	67.1	67.1

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,781,592	7,784,049
売掛金	721,285	1,100,688
商品及び製品	1,087,384	1,215,383
原材料及び貯蔵品	2,354	2,248
その他	601,153	822,170
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	10,192,270	10,923,040
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,157,958	4,803,859
土地	6,103,365	6,103,365
その他（純額）	1,228,082	1,151,534
有形固定資産合計	11,489,405	12,058,758
無形固定資産		
その他	72,587	69,174
無形固定資産合計	72,587	69,174
投資その他の資産		
長期貸付金	617,635	607,527
その他	1,111,571	1,172,074
投資その他の資産合計	1,729,207	1,779,602
固定資産合計	13,291,199	13,907,535
資産合計	23,483,470	24,830,576
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,924,675	3,996,902
1年内返済予定の長期借入金	56,004	56,004
未払法人税等	319,369	166,848
賞与引当金	227,172	56,572
その他	2,066,528	2,389,983
流動負債合計	5,593,749	6,666,310
固定負債		
長期借入金	97,987	83,986
退職給付引当金	836,864	841,246
資産除去債務	16,980	214,547
その他	1,083,622	1,006,553
固定負債合計	2,035,453	2,146,333
負債合計	7,629,203	8,812,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,253	1,639,253
資本剰余金	1,566,100	1,566,100
利益剰余金	12,650,193	12,840,606
自己株式	△2,980	△27,950
株主資本合計	15,852,565	16,018,009
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,701	△76
評価・換算差額等合計	1,701	△76
純資産合計	15,854,267	16,017,933
負債純資産合計	23,483,470	24,830,576

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	12,670,686	13,385,653
売上原価	9,495,481	9,925,481
売上総利益	3,175,204	3,460,171
営業収入	143,209	134,988
営業総利益	3,318,414	3,595,159
販売費及び一般管理費	2,663,179	2,906,531
営業利益	655,234	688,628
営業外収益		
受取利息	1,010	899
受取配当金	168	160
その他	1,733	2,013
営業外収益合計	2,912	3,072
営業外費用		
支払利息	144	103
その他	140	113
営業外費用合計	285	216
経常利益	657,861	691,484
特別損失		
固定資産除却損	-	59
特別損失合計	-	59
税引前四半期純利益	657,861	691,424
法人税、住民税及び事業税	135,573	144,042
法人税等調整額	69,867	71,305
法人税等合計	205,440	215,347
四半期純利益	452,420	476,077

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年11月10日開催の取締役会において決議いたしました、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式取得について、以下のとおり実施いたしました。

1 自己株式の取得を行う理由

株主還元および資本効率の向上を図るとともに、市場環境、経営環境等の変化に対応した柔軟かつ機動的な資本政策を実施していくため。

2 取得に係る事項の内容

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数	20万株(上限)
	(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.75%)
株式の取得価額の総額	2億円(上限)
取得期間	2023年11月13日から2024年9月20日まで
取得方法	東京証券取引所における市場買付

3 取得の結果

(1) 2023年12月31日以前に取得した自己株式の内容

取得した株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	28,300株
株式の取得価額の総額	24,969,900円
取得した期間	2023年11月21日から2023年12月31日まで
取得方法	東京証券取引所における市場買付

(2) 2024年1月1日以降に取得した自己株式の内容

取得した株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	10,000株
株式の取得価額の総額	9,014,600円
取得した期間	2024年1月1日から2024年1月31日まで
取得方法	東京証券取引所における市場買付